

第4学年 国語科学習指導案

日時：令和5年6月8日（木）第5校時
対象：第4学年1組 33名
学校名：荒川区立峡田小学校
場所：学校図書館
授業者：石垣 麻帆
授業支援：学校司書 吉田香奈子

研究主題

気づき、かかわり、自分を広げる 峡田っ子 ～自己有用感を高めるキャリア教育の実現～

1. 単元名

「4年生の学校生活がもっと楽しくなる新聞を作ろう～事実を分かりやすくほくしょう～」

2. 教材名

「要約するとき」(C 読むこと) 「新聞を作ろう」(B 書くこと)

3. 単元の目標

- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて、要約することができる。(思C(1)ウ)
- ・相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思B(1)ア)
- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思B(1)イ)

4. 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力, 判断力, 表現力	ウ 学びに向かう力, 人間性等
考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 C(1)ウ	積極的に目的を意識して、中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、文章を要約しようとしている。
比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し、使っている。 (2)イ	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 B(1)ア	進んで相手や目的を意識して、経験したことから、書くことを選び、構成を考え、学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。

5. 単元について

(1) 教材観

新聞を作るという活動を通して、相手に分かりやすく伝えるにはどうしたらよいかを考える力の育成をねらう。まず、新聞作りの学習につながる「要約」について、要約する際には、「筆者の考え」を押さえた後に、「考えを支える例(事実)」についてできるだけ言葉をそぎ落として添えることが必要だと気付かせ、「内容を相手に分かりやすく紹介する」という目的を設定して、要約する必然をもたせたい。

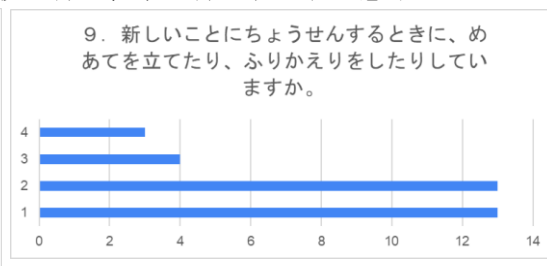
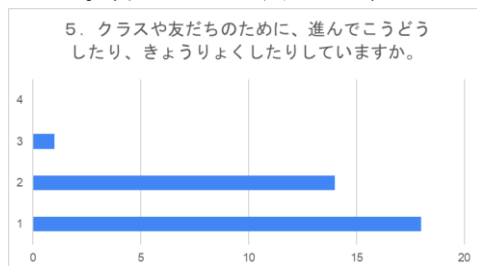
そして、「新聞」の特徴について簡単に押さえる。

- 「新聞の特徴」 ①新聞名 ②発行日 ③発行者
 ④見出し（読者の興味を引く、いちばん伝えたいことを体言止めなどで
 完結にまとめたもの）
 ⑤写真（アップとルーズの使い分け）
 ⑥グラフ（棒グラフ、表など算数での既習事項の活用）
 ⑦イラスト
 ⑧本文「逆三角形型」（最初の文に最も伝えたいことを書き、そのあと補足を書く）
 ⑨ブレイクスペース（今日は何の日、天気予報、豆知識など）

相手に伝える工夫として、「最も伝えたいことに大きく紙面を割り当てる」「グラフや表、図」「写真（アップとルーズ）」「見出し」などがある。また、今回は学校図書館を活用し、伝えたいことの詳細を本から探す活動を中心に学習を進める。引用するための技法の習得や、情報を記録する際には、「情報カード」の活用が便利で有効だということを、活動を通して実感させたい。そして、学校図書館の活用を通して、今後の「調べる学習」や、他教科での課題解決学習につなげていく。

(2) 児童観

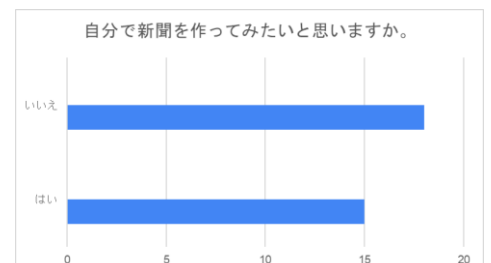
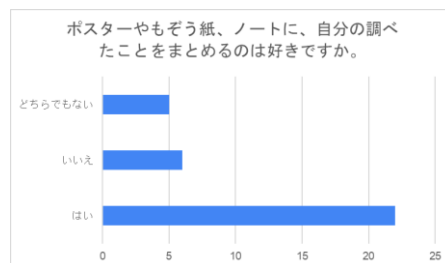
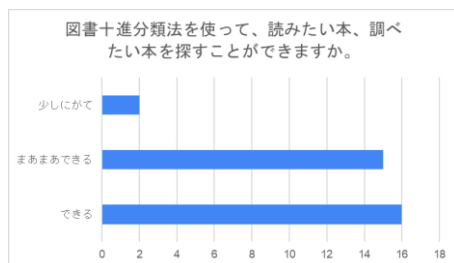
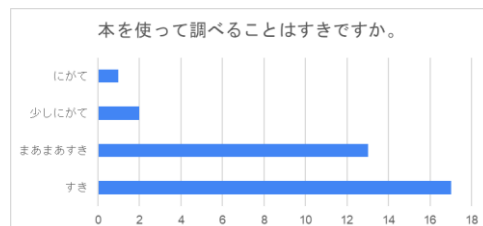
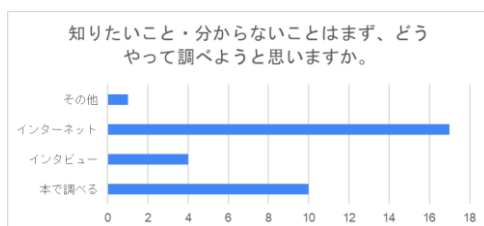
4年1組の児童とは、昨年度から算数の学習を通して関わってきた。算数の学習では、自分の考えをノートに何通りも書いたり、友達との交流を通して、他者の考えのよさを自分の考えに生かしたりすることができている。分からない場面では、互いに教え合い、学び合おうとする意識がもてている。



- 4 ほとんどしていない
 3 あまりしていない
 2 している
 1 とてもしている

(にこにこアンケートより)

今回は、学校図書館の利活用についての児童の実態を知るため、アンケートを実施した。



結果から、本を使って調べることは好きだが、インターネットの利便性から、個人で調べるときは、インターネットを活用しているという結果が分かった。また、自分の考えをまとめることは好きだが、まだ経験のない新聞作りに関しては、意欲がもてないことも分かった。学習を通して、本はインターネットよりも、情報が精選され確証があるということ、新聞というツールをつかって思いや考えを表現する楽しさを感じさせたい。

(3) 指導観

本単元を通して、学校図書館のよさを感じ、課題対応能力の力も育めるように、3つの視点を中心に指導していく。

1 つめは「学習計画を立てる」ことである。この活動を通して、計画づくりの必要性に気付き、見通しを

もちながら作業の手順が分かる力を育成したい。また、目標を設定し、振り返りながら取り組むことで、具体的な解決方法や自分自身の成長を感じ、さらに工夫してみようとする態度を育てていく。

2つめは「学校図書館の活用」である。本単元は、学校図書館の図書資料を中心に調べてまとめるという学習的を絞った。近年、インターネットが普及し、簡単に調べることができるが、発達段階において、個人で正確な情報かどうか確かめることが難しい。そこで、図書資料を活用するよさを実感し、今後の他教科においても、本を進んで活用したいという主体的に学習に取り組む意識を育てる。

3つめは「新聞テーマのグループの可視化」である。新聞の特徴や構成をより理解するため、今回は1人1枚の新聞作成にした。図書検索をする際に、テーマを可視化することで、児童が共通理解し、同じテーマの友達と協力しながら取り組み、最後までやり遂げられるように指導する。

新聞の大きなテーマを「これからの学習がより充実するため」として、新聞の読み書きを通して、4年生の学校生活が豊かになり、学習への興味が深まるようにした。新聞という伝え方のツールを覚えることで、今後の学校生活で発表する手法の一つとできるようにしたい。そして、3年生で学習した「引用」や、効果的な文章の組み立て、知りたいことの調べ方、直前での「要約」を複合的に組み合わせ、相手や目的に応じて調べたり、組み立てを考えたり、「引用と要約」を用いたりして、限られた紙面で思いを伝えることを指導していく。

5. キャリア教育で育みたい力（中学年）

- 自分で考え、気付く力……自分の考えやよさに気付いたり、伸ばしたりすることができる。
- 友達等と関わり、学び合う力……友達の考えを受け止め、自分の考えを深めることができる。
- 活動の振り返りができる力……自分にあつためあてをたてて取り組み、振り返りができる。
- 将来を見通す力……一定の期間を見通して活動することができる。

6. 目標に迫るための手立て

① 学校図書館、「情報カード」の活用

伝えたいことを探したり、調べたりしやすくするために、新聞のテーマを事前に集約し、他校からテーマに沿う本を借り、書数を豊富にした。「情報カード」を使用することで、「引用」と「要約」の表現の違いや、出典の書き方、調べたことを再度検索する容易さなどのカードのよさを理解し、進んで活用できるようにして「課題対応能力」の育成を図る。また、学校図書館は、学校司書や友達と関わり、協力しながら活動できるというよさにも気付かせたい。

【自分で考え、気付く力】

② 学習計画表の作成

新聞を完成させるまでの学習過程について見通しをもてるように、自分の学習計画表を立てる。計画を立てやすくするために、完成までの時数と、「記事①（本を選ぶ・取材メモ）」「記事②（本を選ぶ・取材メモ）」「記事③（本を選ぶ・メモ）」「新聞を作る」という4つのキーワードを使って、ゴールをイメージできるようにする。計画表と進捗状況から、この時間は友達の協力に回るなど、みんなで発表会を迎えるためには、自分がどんな役割を果たせるのかを考え、「人間関係形成・社会形成能力」を高めていきたい。そして、計画表をもとに、めあてと振り返りを繰り返すことで、自己調整能力を高めさせていき、「キャリアプランニング能力」の育成を図る。

【活動の振り返りができる力】【将来を見通す力】

③ 新聞記事テーマごとのグループの可視化

1人ずつ新聞を作成するが、友達同士で教え合いながら探求活動できるように、記事にするテーマごとにメンバーを画用紙に書き、提示する。仲間と協力して課題が解決できたという経験は、中学年のキャリア発達を促す上で、最も大切なものであるため、図書資料を探したり、新聞を書いたりするときに、不安な時は、友達と一緒に活動してもよいことを伝え、活動を通して、みんなで学習することの意義やよさを実感し、「やればできる」という自信と達成感がもてるようにする。

【友達等と関わり、学び合う力】

7. 単元（題材）の指導計画と評価計画（11時間扱い 本時5/11）

次	時	○学習内容 ・学習活動	■評価規準（評価方法）
第一次	1	○「要約」について知る。 ・「アップとルーズ」の文章を使って、要約する。 特徴が書かれている段落を見つけ、要約するとき に大切な語や文章を見つける。 ・グループで要約した文章を読み合う。	■「要約」の意味を知り、中心となる語や 文を見つけ、文章を要約している。 (ワークシート)
	2 ・ 3	○新聞の構成を知る。 ・実際の新聞を提示し、同じ内容でも、表現方法によ って一番伝えたいことの違いに気付かせる。 ・新聞には、「新聞名」「発行日」「発行者」「見出し」「写 真」があることに気付かせる。 ○テーマについて、調べたいことのメモづくりをする。 ・新聞に書きたいことを思考ツールを使って、整理しな がら、具体的に考えていく。 ○学習計画を立てる。 ・「記事（選書・取材メモ）」「新聞を作る」活動につ いて、どのくらいの時間をかけるのか、自分の新聞計画 表を立てて、見通しをもつ。	■新聞の特徴を理解し、まとめている。 (発言・ワークシート) ■新聞を完成させるまでの学習過程につ いて見通しをもっている。 (ワークシート) 【将来を見通す力】
第二次	4	○「記事①（選書・情報カード記録）」を作成する。 ・伝えたいテーマについて、詳しく調べたいことを図書 資料をもとに記事のメモを作る。 ・「要約」と「引用」の違いについて、確かめる。 ・本を使った調べる学習においては、ノートに書くより も、「情報カード」を使用するよさを確認する。	■内容に応じた本を選び、知らせたいこ とを情報カードに記録している。 (記述) 【自分で考え、気付く力】 ■図書検索がうまく進まないときは、友 達と助け合いながら調べている。 (態度) 【友達等と関わり、学び合う力】
	5 (本時)	○「記事②③（選書・情報カード記録）」を作成する。 ・伝えたいテーマについて、選書できなかった課題につ いて、全体で解決する。 ・情報カードの記録のポイントを確かめる。	■内容に応じた本を選び、知らせたいこ とを情報カードに記録している。 (記述) 【自分で考え、気付く力】 ■前時の課題について、解決策を発表し ている。 (発言) 【活動の振り返りができる力】
	6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10	○「記事（選書・情報カード記録）」を作成する。 ・新聞計画表で進捗状況を振り返りながら、活動する。 ○新聞を作る。 ・新聞の構成要素を確かめる。 ・トップ記事を決め、割付・見出しについて考える。 ・新聞作りの手順として「見出し」→「文章」→「写真・ イラスト」の順でスペースを埋めていくようにする。	■内容に応じた本を選び、知らせたいこ とを情報カードに記録している。 (記述) 【自分で考え、気付く力】 ■目的に応じた割付を考えている。 (新聞) ■新聞やイラスト、見出しを工夫して、分 かりやすいように、記事を書いている。 (新聞)

第三次	1	○完成した新聞を読み合い、感想を伝える。 ・記事の内容と、表現方法の両方に注目して、新聞のよいところを伝え合うようにする。	■新聞を読んで、内容や書き方についてよいところを見つけている。 (感想カード) ■単元の振り返りから、身に付いた力や次に生かしたいことを書いたり、発表したりしている。 (計画表・発言) 【将来を見通す力】
	1		

8. 本時(5 / 10 時)

(1) 目標

自分の決めたテーマに関する図書資料を見つけて伝えたいことを調べ、情報カードにまとめ、振り返りができる。

(2) 展開

時間	○学習内容 ・学習活動	・指導上の留意点	■評価規準 (評価方法)
導入	○前時の活動を振り返る。 ・「記事①」の学習から、困っていることや、本時の活動に大切なポイントを押さえる。 ・本時のめあてをたてる。	・前時でなかなか活動が進まなかった課題について、全体で共有し解決する。 (例：調べたい本が見つからない。 →十進分類法(何類)かで調べる。 →探求する視点を変える。 など) ・「引用」と「要約」の記入の仕方をおさえる。 ・図書資料の写真が必要ならば、TPCで撮影するように伝える。 ・活動の見通しをもてるように、全員が「記事①」の取材メモは完成するように、児童のめあてを紹介する。	■前時の課題について、解決策を発表したり、前時の活動から、自分の本時のめあてをたてることができている。 (発言・計画表) 【活動の振り返りができる力】
展開	○テーマに沿った図書資料を見つけ、情報カードに記録する。 ・「記事①」の取材メモが完成した児童は、「記事②」について調べる。 ・調べたいテーマは何類なのか、「図書十進分類法」をもとに、探していく。 ○今日の学習の「報告会」をする。	・資料検索のサポートに、学校司書を活用できるようにする。 ・引用と要約の表記に間違いはないか、確かめる。 ・資料探しが不安な時は、友達と一緒に活動できるように、テーマグループを掲示しておく。 ・取材メモ作りが終わった児童は、次の「新聞作り」の活動へ進めるように、「新聞完成の見本」や「文章カード」、「見出しカード」などの教材を準備しておく。 ・「今日できるようになったこと」「課題を解決できたポイント」など、本時で成長を感じた児童を意図的に指名し、報告内容について価値づける。	■内容に応じた本を選び、比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し、知らせたいことを情報カードに記録している。(情報カード) [知・技] 【自分で考え、気付く力】
まとめ	○活動を振り返る。 ・学習計画表に、本時の振り返りを書く。	・できるようになったことや、そのポイントを計画表に書き、次時に生かせるようにする。	■学習計画表に、選書や情報カードを作成できたポイントを記録している。 (計画表) 【将来を見通す力】

